

平成27年度入学試験問題（後期日程）

小論文

医学部医学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

- 1 次の文章は、2014年10月20日にWorld Health Organization(WHO)が出したStatementである。この文章を読んで以下の設問に答えなさい。

非公開

a level of high alert. (WHO, ○○○○ 20, 2014 より一部抜粋)

【注釈】

- 1) CDC;アメリカ疾病予防管理センター 2) MSF;国境なき医師団
3) UNICEF;国際連合児童

問1 医療水準が高いとはいえないNigeriaにおいて、なぜEbola virusの感染拡大を防ぐことができたのか、200字以内で述べなさい。

問2 日本でEbola virus diseaseの感染者が出た場合の問題点と有効な対策についてあなたの意見を200字以内で述べなさい。

② 次の文章を読んで以下の設問に答えなさい。

非公開

(Nature Education 1(1):90, 2008 より一部抜粋、一部改変)

問1 下線部①について自身の考えを150字以内で述べなさい。

問2 あなたが diseases with no preventative measures or treatments であり、自身、もしくはあなたの配偶者の妊娠が判明した時に、その子供に対しての検査について自身の考えを150字以内で述べなさい。

- 3 この文章は日本における医科学研究の現状を示した文章である。

非公開

(Journal of Anesthesia 2011 より抜粋)

問 この文章とFigure 1を参考に、この現状が続いた場合の日本の医学研究における問題点とそれに対する解決策について300字以内で意見を述べなさい。

4 アフリカの Ebola 出血熱勃発はその後拡大し、アフリカにとどまらず世界の問題となっている。以下の英文は、科学雑誌 Science (2014 年〇〇月) に掲載された文で、Ebola 出血熱から回復した Senga Omeonga 医師に対する Science 記者の質疑と Omeonga 医師の回答の一部を抽出したものである。この英文を読んで次の設問に答えなさい。

非公開

非公開

問 1 Omeonga 医師の実体験を参考に、病院内で医療従事者へのエボラウイルスの 2 次感染を防ぐ方法を 200 字以内で説明しなさい。

問 2 エボラ出血熱から回復した人は、エボラウイルス感染者医療に協力できると期待される。回復者がどのようなメカニズムで再度この病気にかからないのか、またそのメカニズムを利用した感染予防法について 200 字以内で説明しなさい。

平成27年度入学試験問題（後期日程）

小論文

医学部医学科

出題の意図

① 琉球大学医学科のアドミッションポリシーにあるように“生命現象や医学・医療に強い関心があり、医学を学ぶ基礎学力を有する人”を選別するために、今年、アフリカで発生し、世界規模の感染拡大が懸念されるエボラ出血熱を題材として医学・医療への関心の度合い、問題解決能力、外国語運用能力をなど評価する目的で出題した。

② 最近の生命科学の著しい発展に関連し、惹起された生命倫理感について評価する目的で出題した。

問1 必然ではない遺伝子検査についての倫理感と論理的な思考力を評価する。

問2 遺伝優劣についての倫理観と論理的な思考力を評価する。

③ 琉球大学医学部のアドミッションポリシーとして「生命現象、医学・医療に強い関心がある人」、「医学を学ぶ基礎学力を有する者」が学生像として求められている。この出題は、昨今、日本の医学研究の衰退とそれに伴う医科学発展の将来について、受験生の考察を観ることを出題の意図としている。

④ 琉球大学医学部は他大学医学部と比較して感染症研究に力をいれている。この入試問題は、日常のニュース等で報じられているエボラウイルス感染症を題材として、本学部に入学を希望する受験生の感染症に対する関心度と理解度を評価することを目的としている。